



みんなの占用許可

市民主体で占用許可を実現した3組によるトークイベント

公共空間を使ってイベントや事業などに取り組む際に占用許可が必要になる事はよくありますが、許可を得ることは容易ではありません。占用主体は長らく行政組織や公益性の高い団体に限定されているからです。

本企画では、然るべき手続きを経て占用許可を受け、水辺での企画の実現を果たした大阪の3組の市民主体から、そのプロセスや得られた知見・ノウハウについてお話を伺います。

まちを使いたい・楽しくしたいという市民の純粋な発意・行動意思が叶うまちこそが、これから選ばれるまちとなります。そのためにはどんなコツ・ツボがあるのか、水都大阪コンソーシアムをコメンテーターに迎え、議論を深めたいと思います。

概要

3月4日(木)

19:00 - 21:00 (18:45 受付)
オンライン開催 (裏面参照)

- 参加費** 1,500円
登壇者 伏見の港デザイン研究所 .port
 林 亜衣子
 (一社)日本建築協会 U-35 委員会
 高畑貴良志、平岡 翔太
 水辺のレストラン
 末村 巧
ゲスト 水都大阪コンソーシアム
 吉城 寿栄
案内人 水辺のまち再生プロジェクト事務局
 笹尾 和宏
主催 水辺のまち再生プロジェクト

出演者



スピーカー

伏見の港デザイン研究所 .port
林 亜衣子

取組概要

かつて伏見と大阪との交易を支えた三十石船をモチーフに制作したカーゴバイク「伏見マール」入港式として、水運でつながった都市交流の起点である八軒家浜の河岸で小さなパーティを開催。



スピーカー

(一社)日本建築協会 U-35 委員会
高畑貴良志 2020 年度リーダー / 日建設計
平岡 翔太 2021 年度リーダー / 大建設計

取組概要

新型コロナウイルスが感染拡大するなか「街=外」の空間に着目。場の共有を感じられるインスタレーション「フープディスタンス」「水辺カーペット」「波打つ広場」「バルーンディスタンス」を中之島公園で実施。



スピーカー

水辺のレストラン
末村 巧

取組概要

コロナ禍の取り組みの一環として、川沿いのプロムナードを活用。「本格的なアウトドアレストラン」をコンセプトに、若手コックやギャルソンたちのユニットによるフレンチフルコースとペアリングワインを擁したレストランサービスを提供。



ゲスト

水都大阪コンソーシアム
吉城 寿栄

取組概要

行政や経済団体、大阪観光局や民間の舟運事業者団体で構成される公民一体型の組織。水辺や河川を活用した事業の展開やイベントを主催するほか、市民企画のサポートにも積極的に取り組む。



案内人

水辺のまち再生プロジェクト事務局
笹尾 和宏

河川水域でのイベントや「自由使用」の視点にたった生活目線の実践を行う。著書に「あたらしい「路上」のつくり方 実践者に聞く屋外公共空間の活用ノウハウ」(2018 年共著)、「PUBLIC HACK 私的に自由にまちを使う」(2019 年)

当日の内容

イントロ

自己紹介
実施内容の紹介

シェア

企画の背景
実施に至るプロセス
得た・感じたこと

ディスカッション

見えてきた課題
描けるビジョン

申込・参加方法

申込方法

以下の URL より、参加費をお支払いの上、お申し込みください。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01mst511g5ues.html#accept>

※右の QR コードからもアクセス可能です。



参加方法

お申込み時に入力いただいたメールアドレス宛に、3月3日までに YouTube Live の URL をお伝えします (届かない場合は問合せください)。

お問い合わせ

mizube@suito-osaka.net (水辺のまち再生プロジェクト事務局 笹尾)



PUBLICSHIP とは、公共空間を主体的に利用する所作であり心構えを指す造語です。

PUBLICSHIP に新しい視点や発見をもたらす気づきを得ていく活動が PUBLICSHIP UPDATING です。

NO BORDER, BE WILD.



水辺のまち再生プロジェクト
An aquapolis Osaka, A project that will stimulate any city on a riverside.